



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月8日

上場会社名 日本ペイントホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint-holdings.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田堂 哲志  
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 持田 由希子 (TEL) 06-6455-9140  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 平成30年9月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	310,996	6.6	34,597	△2.5	38,151	4.4	18,357	18.9
29年12月期第2四半期	291,748	—	35,493	—	36,557	—	15,445	—

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 8,770百万円(△39.0%) 29年12月期第2四半期 14,383百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	57.24	57.23
29年12月期第2四半期	48.16	48.15

当社は、平成28年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成29年12月期第2四半期累計期間(平成29年1月1日から平成29年6月30日まで)と、比較対象となる平成28年12月期第2四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	902,556	618,444	55.5
29年12月期	920,591	629,408	54.8

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 501,114百万円 29年12月期 504,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	20.00	—	22.00	42.00
30年12月期	—	22.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	650,000	7.4	78,000	4.1	82,000	6.7	35,500	△4.4
								110.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	325,402,443株	29年12月期	325,402,443株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	4,701,116株	29年12月期	4,700,301株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	320,701,749株	29年12月期2Q	320,703,476株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の対象期間は、平成30年1月から6月までの6ヶ月間です。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は3,109億96百万円（前年同期比6.6%増）となりました。連結営業利益は原材料価格上昇などの影響で345億97百万円（前年同期比2.5%減）となりました。連結経常利益は、中国で環境規制に伴う工場退去の補助金収入などから381億51百万円（前年同期比4.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、寝屋川事業所閉鎖による土地売却に伴う特別利益を計上したことから183億57百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

#### 《日本》

当地域では、自動車用塗料の売上高については、自動車生産台数が前年同期並みで推移するなか、高意匠・高付加価値塗料の出荷が好調に推移したことや、市場シェア拡大に努めたことなどから、前年同期を上回りました。工業用塗料の売上高については、建材向け塗料の出荷が市況の影響を受け伸び悩んだことなどから、前年同期を下回りました。汎用塗料の売上高については、市況が低調に推移するなか、新製品投入等によりリテール領域の市場シェア拡大に努めたことなどから前年同期をわずかながら上回りました。また、その他塗料の売上高については、船舶用塗料における市況低迷や、前年同期に大型塗装設備工事の売上を計上したことから、前年同期を下回りました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は866億57百万円（前年同期比0.5%減）となりました。また、連結営業利益は、原材料価格の上昇や、販売管理費増の影響などにより276億1百万円（前年同期比0.8%減）となりました。連結営業利益には海外グループ会社からの受取配当金135億23百万円（前年同期は123億53百万円）が含まれております。なお、この受取配当金は内部取引として、全額「セグメント間取引消去その他の調整額」として消去されます。

#### 《アジア》

当地域では、中核地域である中国において、自動車用塗料の売上高については、自動車生産台数が前年同期を上回ったことや中国系顧客向けの事業拡大、自動車部品用塗料の拡販などにより、前年同期を上回りました。汎用塗料の売上高については、住宅内装用塗料を主力とする領域において不動産市況が低調に推移するなか、建築外装用塗料を主力とする領域において重点顧客の売上が拡大したことなどから、前年同期を上回りました。工業用塗料の売上高については、建材向け塗料などの出荷が市況の影響を受け伸び悩んだことなどから、前年同期を下回りました。

中国以外のアジア地域では、自動車用塗料の売上高については、タイやインドで日系顧客の自動車生産台数が増加したことなどから、前年同期を上回りました。汎用塗料の売上高については、シンガポールやベトナム、マレーシアにおいて好調に推移しました。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は1,792億99百万円（前年同期比8.1%増）、連結営業利益は原材料価格の上昇による影響はあったものの、販売管理費のコントロールなどにより、183億31百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

#### 《米州》

当地域では、中核地域であるアメリカにおいて、自動車用塗料の売上高については、自動車部品用塗料の拡販などに努めたものの、前年同期に比べて自動車生産台数が減少したことや、為替変動の影響を受けたことにより、前年同期を下回りました。汎用塗料の売上高については、前年3月に建築用塗料メーカーのDUNN-EDWARDS CORPORATION（以下、DE社）を連結子会社としたことから、前年同期を上回りました（前年同期は4ヶ月分のみ計上）。

これらにより、当地域セグメントの連結売上高は377億33百万円（前年同期比19.3%増）、連結営業利益は20億86百万円（前年同期比8.8%増）となりました。なお、前年同期はDE社取得時の関連費用を計上しております。

《その他》

当地域では、自動車用塗料について、EU域内における自動車生産台数が前年同期を上回るなか、仏系顧客への出荷が好調に推移したことなどから連結売上高は73億7百万円（前年同期比1.8%増）、連結営業利益は原材料価格の上昇やプロダクトミックス悪化の影響などにより21百万円（前年同期比95.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して180億34百万円減少し、9,025億56百万円となりました。流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して52億62百万円増加しておりますが、主な要因は、現金及び預金や有価証券が減少した一方で、売上債権が増加したことなどによるものです。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して232億97百万円減少しております。主な要因は、償却に伴う商標権やのれんの減少、株価の下落による投資有価証券の減少などによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して70億70百万円減少し、2,841億12百万円となりましたが、主な要因は、借入金や繰延税金負債の減少などによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して109億64百万円減少し、6,184億44百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定、非支配株主持分が減少したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の54.8%から55.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間は、営業活動により233億21百万円の収入、投資活動により83億9百万円の支出、財務活動により157億2百万円の支出があり、結果として現金及び現金同等物（以下「資金」という）は979億52百万円となり、前連結会計年度末より26億8百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による収入は233億21百万円（前年同期比28億1百万円増）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益に減価償却費等の非現金支出費用等を加味したキャッシュ・フロー収入（運転資本の増減を除く）を490億25百万円計上するなか、中国連結子会社における前連結会計年度末での売上債権早期回収に伴う当第2四半期連結会計期間末の売上債権の大幅な増加等、運転資本の増加による資金の減少193億84百万円、法人税等の支払いなど63億19百万円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による支出は83億9百万円（前年同期比753億61百万円減）となりました。主な要因は、有価証券の減少による20億56百万円の収入、有形固定資産の取得による99億85百万円の支出があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による支出は157億2百万円（前年同期は176億59百万円の収入）となりました。主な要因は、DE社買収資金調達時の借入金の返済等75億67百万円の支出、配当金の支払い75億88百万円の支出があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	103,007	99,900
受取手形及び売掛金	153,922	170,117
電子記録債権	15,402	15,531
有価証券	37,477	34,329
たな卸資産	68,406	66,192
繰延税金資産	7,278	7,438
その他	20,800	19,291
貸倒引当金	△4,394	△5,639
流動資産合計	401,900	407,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,029	63,660
その他（純額）	78,850	76,890
有形固定資産合計	142,880	140,550
無形固定資産		
のれん	197,051	185,237
商標権	61,870	58,926
その他	54,295	51,800
無形固定資産合計	313,216	295,964
投資その他の資産		
投資有価証券	57,619	54,143
繰延税金資産	1,143	1,106
その他	3,912	3,673
貸倒引当金	△82	△44
投資その他の資産合計	62,593	58,878
固定資産合計	518,690	495,393
資産合計	920,591	902,556

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,940	80,428
電子記録債務	22,380	21,175
短期借入金	25,354	26,834
未払法人税等	6,046	8,947
製品補償引当金	2,340	322
その他	63,150	69,743
流動負債合計	199,212	207,451
固定負債		
長期借入金	31,741	21,656
繰延税金負債	33,337	30,908
役員退職慰労引当金	191	191
環境対策引当金	264	298
退職給付に係る負債	17,398	16,748
その他	9,037	6,857
固定負債合計	91,970	76,660
負債合計	291,182	284,112
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	78,862	78,862
資本剰余金	63,262	63,228
利益剰余金	385,369	396,671
自己株式	△6,454	△6,458
株主資本合計	521,040	532,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,068	10,289
為替換算調整勘定	△25,387	△38,577
退職給付に係る調整累計額	△3,384	△2,903
その他の包括利益累計額合計	△16,703	△31,190
新株予約権	136	154
非支配株主持分	124,934	117,175
純資産合計	629,408	618,444
負債純資産合計	920,591	902,556

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	291,748	310,996
売上原価	172,155	188,614
売上総利益	119,592	122,382
販売費及び一般管理費	84,099	87,784
営業利益	35,493	34,597
営業外収益		
受取利息	639	525
受取配当金	536	598
持分法による投資利益	421	583
補助金収入	438	2,853
その他	1,507	1,164
営業外収益合計	3,542	5,725
営業外費用		
支払利息	547	579
為替差損	1,464	717
その他	467	873
営業外費用合計	2,478	2,170
経常利益	36,557	38,151
特別利益		
固定資産売却益	24	2,183
その他	4	100
特別利益合計	29	2,283
特別損失		
固定資産除売却損	250	423
その他	5	—
特別損失合計	256	423
税金等調整前四半期純利益	36,330	40,011
法人税等	11,732	12,173
四半期純利益	24,597	27,837
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,152	9,479
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,445	18,357

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	24,597	27,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,833	△1,834
為替換算調整勘定	△9,860	△16,852
退職給付に係る調整額	1,403	486
持分法適用会社に対する持分相当額	76	△867
その他の包括利益合計	△10,214	△19,067
四半期包括利益	14,383	8,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,278	3,870
非支配株主に係る四半期包括利益	7,104	4,900

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	36,330	40,011
減価償却費	8,502	9,408
のれん償却額	5,618	5,946
受取利息及び受取配当金	△1,176	△1,123
支払利息	547	579
持分法による投資損益(△は益)	△421	△583
有形固定資産除売却損益(△は益)	226	△1,759
売上債権の増減額(△は増加)	△21,220	△19,985
たな卸資産の増減額(△は増加)	△911	367
仕入債務の増減額(△は減少)	1,086	233
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	859	95
その他	△2,201	△4,435
小計	27,239	28,755
利息及び配当金の受取額	1,671	1,519
利息の支払額	△436	△632
法人税等の支払額	△12,076	△6,589
法人税等の還付額	4,122	269
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,520	23,321
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の純増減額(△は増加)	11,794	2,056
有形固定資産の取得による支出	△9,944	△9,985
有形固定資産の売却による収入	555	2,413
投資有価証券の取得による支出	△6,294	△42
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△79,606	—
その他	△174	△2,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,671	△8,309
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,030	△857
長期借入れによる収入	32,000	327
長期借入金の返済による支出	△872	△7,037
リース債務の返済による支出	△269	△312
配当金の支払額	△6,414	△7,055
非支配株主への配当金の支払額	△663	△533
その他	△91	△234
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,659	△15,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,256	△1,917
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△47,748	△2,608
現金及び現金同等物の期首残高	134,515	100,560
現金及び現金同等物の四半期末残高	86,767	97,952

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	米州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	87,134	165,804	31,633	284,571	7,176	291,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,071	2,347	80	25,499	452	25,951
計	110,205	168,151	31,714	310,070	7,628	317,699
セグメント利益	27,828	17,570	1,917	47,316	458	47,775

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	47,316
「その他」の区分の利益	458
セグメント間取引消去その他の調整額	△12,282
四半期連結損益計算書の営業利益	35,493

(注) 「セグメント間取引消去その他の調整額」には、セグメント間の受取配当金が含まれております。

## 3. 製品及びサービスに関する情報

(単位:百万円)

外部顧客への売上高	金額	前年同期比(%)
塗料	282,401	—
自動車用	73,035	—
汎用	145,508	—
工業用	36,460	—
その他塗料	27,396	—
ファインケミカル	9,347	—
合計	291,748	—

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前連結会計年度において、決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。このため、当第2四半期連結累計期間は比較対象期間が異なることから、対前年同期比については記載しておりません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	米州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	86,657	179,299	37,733	303,689	7,307	310,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,435	1,784	106	26,326	382	26,708
計	111,092	181,083	37,839	330,015	7,689	337,704
セグメント利益	27,601	18,331	2,086	48,019	21	48,040

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	48,019
「その他」の区分の利益	21
セグメント間取引消去その他の調整額	△13,443
四半期連結損益計算書の営業利益	34,597

(注) 「セグメント間取引消去その他の調整額」には、セグメント間の受取配当金が含まれております。

## 3. 製品及びサービスに関する情報

(単位:百万円)

外部顧客への売上高	金額	前年同期比(%)
塗料	301,276	6.7
自動車用	81,560	11.7
汎用	159,461	9.6
工業用	33,721	△7.5
その他塗料	26,532	△3.2
ファインケミカル	9,719	4.0
合計	310,996	6.6

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。